



# 南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和7年3月25日発行

東久留米市立南中学校  
〒203-0021 東久留米市学園町 2-1-23

校長 若澤 直樹

## 令和6年度、ありがとうございました

令和6年度中はご家庭の皆様、地域の皆様、その他学校外の様々な方のお力もお借りし、今年度の学校教育目標の実現に向けた6年度の教育活動を終えることができました。誠にありがとうございました。ご理解ご協力に深く感謝いたします。

おかげさまで3月18日の卒業式では、温かい日差しの下、立派な後ろ姿を後輩に残し、令和6年度の卒業生が南中学校を巣立っていきました。今年度で南中学校の卒業生はついに1万人を超え、卒業証書の番号は10035番にまでなりました。

毎年卒業していった1万の先輩から受け継いだ南中学校の『自主性』の伝統を、今年の三年生も強く意識し、卒業生代表が卒業生皆から後輩に伝えたいことを募ってまとめた別れの言葉も「君たちに南中学校を任せます」という力強いメッセージでした。次の一步を踏み出すのだという強い決意を感じさせる素晴らしい歌声とともに2年生に確かに伝えられました。

校長式辞では私も自立への願いを含め次のようなことを伝えました。(一部抜粋)

AIの発達や様々な国際社会の変化などが起きる事で、私達の生活はどんどん変わっていきます。20年前にはスマートフォンはまだありませんでした。街中や電車の中でも知りたい情報を得たり、ものを購入したり、個人が世界に発信したりということが、当たり前に行われている日常を20年前の私は想像もしていませんでした。

10年後、20年後には、今は想像していないような社会構造、産業構造になり、その中で生きる私たちの生活も大きく変わっているだろうと考えられます。我々が想像することを超えた社会になる、ということを「予測困難」と言っているわけですね。

しかし、君たちはそんな予測困難な変化の中でも自分の力で、自分の幸せを掴んでいかなくてはなりません。そして、そのための準備を家庭や地域社会、学校の義務教育の中でしてきました。明日からはさらに、幸せになるための力を付けていくための、それぞれの次の一步を踏み出す時になりました。

君たちが身につけるべき力の基本、これだけは身につけておかなくては、という力の基本は義務教育の中でも身に付けてきました。特に周囲の人との良い関係を作る力、自分を大切に周囲の人を大切にすることは南中学校でしっかり培ってきたと思います。

しかし、これからは自分がさらに何を身につけ伸ばしていくかを一人一人が自分で考えることとなります。

自分の思う自分の幸せ、自分の道を見つけ、そのために自分に足りない力を身に付ける。そんな人生がここからスタートするのです。

校歌にも「自主の校風 松にも誓う」とありますが、1、2年生は先輩からのメッセージを受け取り、自主の伝統に誇りをもち進級し、新学期をスタートしてくれることと期待しています。

来年度も南中学校では全教職員でここまで進めてきた学校作りをさらに進め、より充実した教育環境と、子どもたちの広がりのある学びの充実を目指して教育活動を進めていきます。

今後とも本校の教育活動へのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

最後にこの3月で南中を去ることになる職員をお伝えいたします。

数学科	内田保恵	(西東京市立田無第二中学校へ)
国語科	伊藤夏絵	(国分寺市立第三中学校へ)
社会科	鈴木裕貴	(西東京市立田無第一中学校へ)
英語科	高橋駿	(目黒区立大鳥中学校へ)
音楽科	関淳子	(東久留米市立小山小学校へ)
保健体育科	坂田園	(北区立田端中学校へ)
校長	若澤直樹	(東久留米市立中央中学校へ)
事務主事	濱田未月	
給食事務	町田千礼	
スクールカウンセラー	山際悟史	

保護者の皆様、地域の皆様には 大変お世話になりました。  
ありがとうございました。

